

平成26年11月20日
建 築 都 市 局

公共施設のマネジメントの取り組みについて

1 これまでの主な取り組み内容

(1) 公共施設マネジメントシンポジウムの開催 ※詳細は資料1のとおり

日時／場所 7月29日 18:15～20:15／ムーブ2階ホール
内 容 基調講演、施策説明、パネルディスカッション
参加者数 355名

(2) パンフレットの作成

掲載内容 公共施設の現状や課題、公共施設マネジメントの必要性等
規格／部数 A4サイズ・カラー・12ページ／1万部

(3) 出前講演の実施

実施実績 19件（累計700名） ※詳細は資料2のとおり

(4) 市民アンケートの実施

対象者 20歳以上の市民3,000人
実施期間 10月14日～11月4日
調査内容 資料3のとおり

2 今後の主な取り組み予定

平成26年12月末 公共施設白書の作成・公開
平成27年 3月 公共事業評価制度の見直し
平成27年度中 施設分野別実行計画の策定
モデルプロジェクト地域の公共施設再配置計画の策定

公共施設マネジメントシンポジウムの開催概要

1 シンポジウムの開催概要

- (1) テーマ 明日の公共施設を考える 公共施設マネジメントシンポジウム
- (2) 日時 平成26年7月29日(火) 18:15～20:15
- (3) 会場 男女共同参画センター・ムーブ2階ホール
- (4) プログラム
 - 主催者挨拶 北九州市長 北橋 健治
 - 基調講演 東洋大学経済学部教授 根本 祐二氏
 - 施策説明 北九州市副市長 今永 博
 - パネルディスカッション
 - コーディネーター 齋藤 貞之氏(九州国際大学経済学部特任教授)
 - パネリスト 根本 祐二氏(東洋大学経済学部教授)
 - 野畑 昭彦氏(北九州商工会議所副会頭)
 - 内山 信子氏(門司区藤松市民センター館長)
 - 金 成子氏(株アヴァンティ北九州支社取締役支社長)
 - 今永 博(北九州市副市長)

2 参加者数 355名

3 各プログラムの概要

(1) 基調講演(東洋大学・根本教授)

「ハコモノが減ると不幸になりますか? —政令市最多の公共施設を持つ北九州市民の取るべき道—」というテーマで基調講演が行われた。

基調講演では、インフラを含めた公共施設マネジメントの必要性、国の政策の動向、広域化・多機能化など全国の具体的な事例紹介などが行われ、政令市でも多くの公共施設を保有する北九州市民に対する問題提起がなされた。

(2) 施策説明(今永副市長)

公共施設マネジメントの必要性、北九州市の取組みについて、新たに作成した市民向けパンフレットをもとに説明を行った。

(3) パネルディスカッション

基調講演、施策説明を踏まえ、各界の有識者により、北九州市の公共施設を取り巻く課題、北九州市の公共施設の将来像などについて意見交換が行われた。

パネリスト各氏の発言要旨は以下のとおり。

○野畑昭彦氏（北九州商工会議所副会頭）

- ・ 総論賛成だが各論がうまくいくか心配。市制50年経過したが、小倉南区に図書館ができるなど旧市・区意識は根強い。市民と共に議員の理解も必要。
- ・ これまで経済活性化やにぎわいづくりのために都心・副都心にハコモノを造ってきたが、市全体として良かったのか疑問。人の動きが重要。
- ・ 40年で20%削減は達成しなければいけないが、門司区役所をどうするかなど具体的な対策は難しい。

○内山信子氏（門司区藤松市民センター館長）

- ・ 北九州市は素晴らしい所。優秀な人材が豊富に眠っている。市民が自分の問題として認識し、市民のことは市民が決められる仕組みが必要。
- ・ 北九州市の市民センターは少子高齢化社会の担い手として重要な細胞の一つであり、寺子屋、ミニ市役所、コンビニ、道の駅など様々な可能性を秘めているが、規制が多く自由度が足りない。最初は失敗するかも知れないが、地域の力を信頼し、市民にもっと任せて欲しい。

○金成子氏（㈱アヴァンティ北九州支社取締役支社長）

- ・ 財政難の中、北九州市が生まれ変わるチャンス。九州第2の都市にふさわしいまちにしたい。最近の小倉はリノベーションで再生しており、女性としてうれしく思っている。
- ・ 北九州市には動脈と静脈があるが毛細血管がないと実感している。
利用者の視点に立ったまちづくりが行われていない。東田地区も紫川も素敵な場所だが、人が寄り付いていない。まちづくりにはビジョンが必要。ハードとソフトをセットで考えるべき。

○根本祐二氏（東洋大学教授）

- ・ 20%削減という北九州市の方針は甘く、それで済むはずがない。インフラも含めてどうするか真剣に考えないといけない。患者に例えると生活習慣病であり、痛みを伴う治療が必要。今楽をすれば子供が苦しむ。
- ・ 北九州市には全国的、世界的な企業が集積するなどポテンシャルがある。公共施設の問題解決を企業に投げかけてはどうか。
- ・ 市民には責任を求める。また、市民が責任を持って決められるよう、行政はしっかりと数字を出していくべき。国も全自治体にそれを求めている。

今回は出ていないが、今後はそうした数字が出ると思う。他都市では既にやっており、他都市にできることが北九州市にできないはずはない。

○今永副市長

- ・ ただ単に施設を減らすのではなく、まちづくりや都市の再構築が重要との観点から推進組織を作った。公共施設の更新にあたり、複合化やソフト施策の充実、跡地の有効活用など、まちづくりの観点から進めていく。
- ・ 総論の理解促進についてはまだまだこれからであり、今後も市民説明に取り組むが、各論はいかに論理的に説明できるかが我々の役目。すべて理解を求めるのは難しいかも知れないが、これからしっかり検討していきたい。

○齋藤貞之氏（九州国際大学特任教授）

- ・ 公共施設マネジメントは財政状況と無縁ではない。市の財政を家計に例えると親からの仕送り、すなわち補助金や交付金で賄ってきたが、これからはそうはいかない。市民には是非自分の問題として考えて欲しい。
- ・ 20%は妥協策であり、20%で済むはずはない。まだまだ甘い。
40年北九州市で暮らしているが、ハコモノが多くて幸せだったかと問われると疑問が残る。ただ、ハコモノがあれば幸せと考える風潮が市民にはあり、今回の問題提起は良いチャンスだと思う。
- ・ 行政の考えを市民に説明するのは今日が最初だが、今後、我々市民が何をすべきかがポイントになる。
- ・ 今回は時間の関係もあって参加者との質疑応答はできなかったが、次回は市民も議論に参加できるような場を作って欲しい。

4 その他

今回のシンポジウムでは、公共施設マネジメントに関する市民向けのパンフレットを新たに作成して参加者全員に配布するとともに、参加者を対象としたアンケート調査を実施した（回収数は281件、回答率は約8割）。

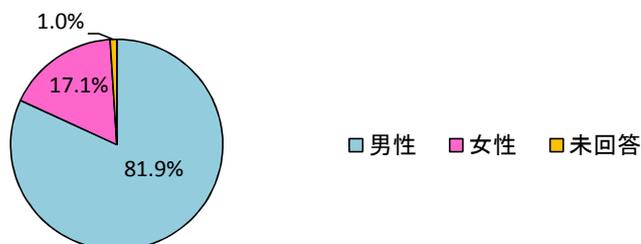
アンケート結果については別紙のとおり。

公共施設マネジメントシンポジウム 参加者アンケート集計結果

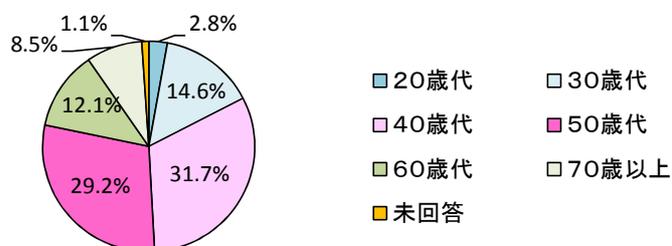
※ 参加者355名、アンケート回答数281件

参加者の属性

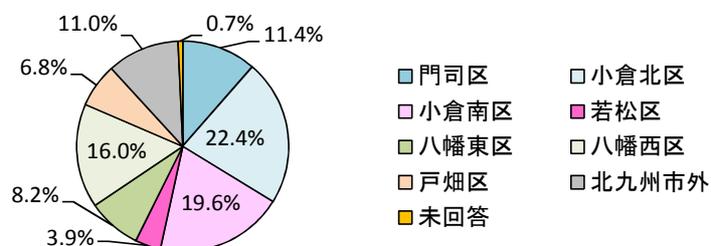
■ 性別



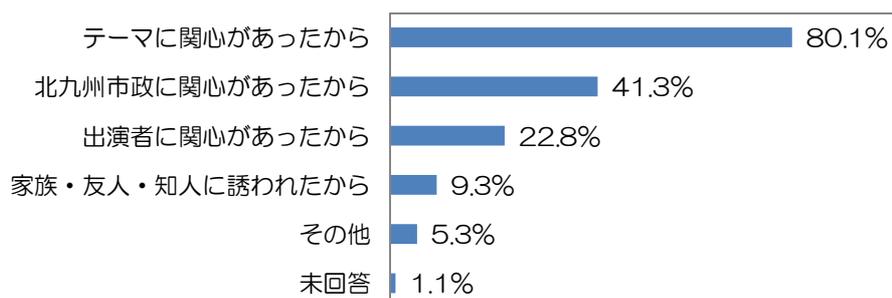
■ 年齢



■ 居住区

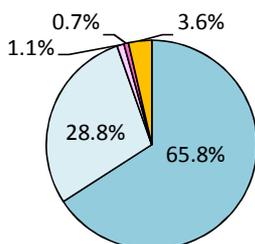


問1 シンポジウムに参加された目的（複数回答）



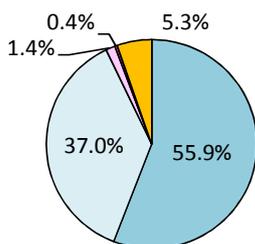
問2 シンポジウムの内容評価

■ 基調講演



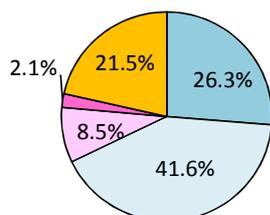
- 理解できた
- おおむね理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった
- 未回答

■ 施策説明



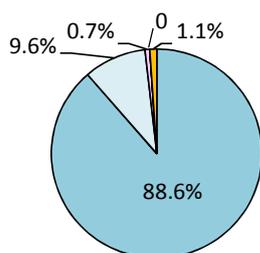
- 理解できた
- おおむね理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった
- 未回答

■ パネルディスカッション



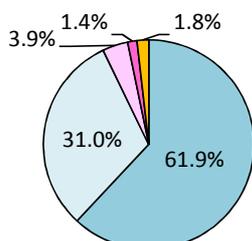
- 理解できた
- おおむね理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった
- 未回答

問3 公共施設を取り巻く現状と課題に対する意見



- 重要な問題である
- どちらかといえば問題である
- どちらかといえば問題ではない
- 重要な問題ではない
- 未回答

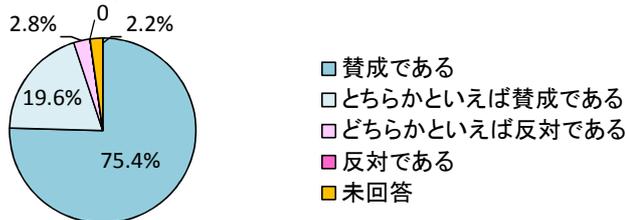
問4 公共施設保有量を少なくとも「今後40年間で20%削減」するという市の方針に対する意見



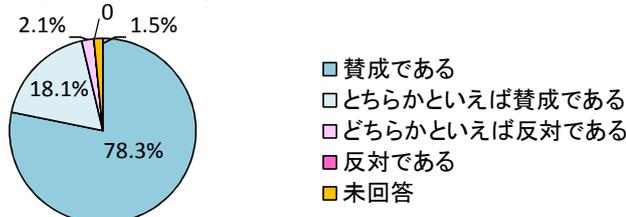
- 賛成である
- どちらかといえば賛成である
- どちらかといえば反対である
- 反対である
- 未回答

問5 公共施設に関する費用削減の取組みに対する意見

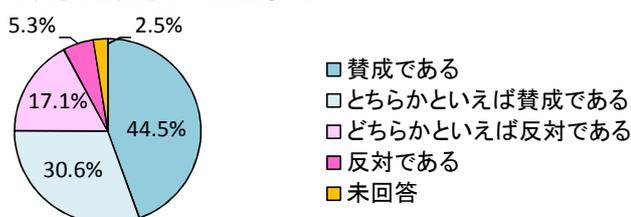
① 施設の統廃合や複合化・多機能化によって施設数を減らす



② 機能が重なっている施設を廃止・統合し、施設数を減らす



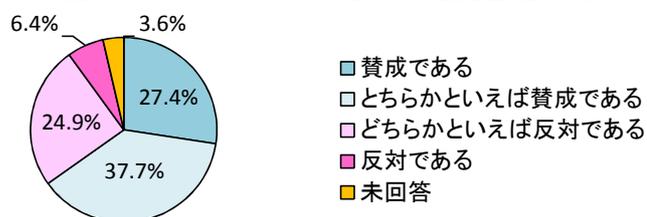
③ 近隣自治体と共同で施設を建設・運営する



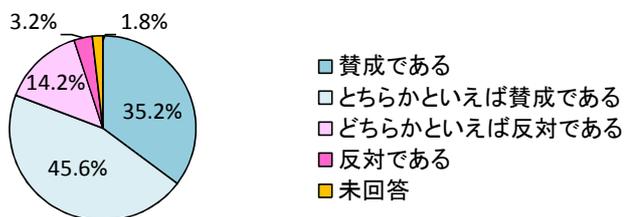
④ 施設の建替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する



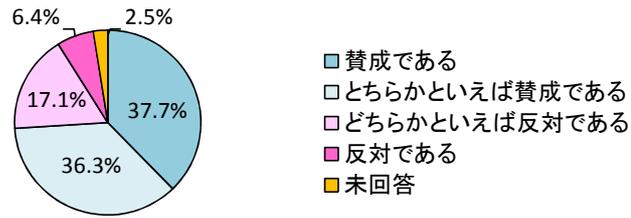
⑤ 地域活動に密着した施設は、地域住民が所有し、維持管理を行う



⑥ 施設を補強し長持ちする（長寿命化）ようにして、しばらく建替えないでいく



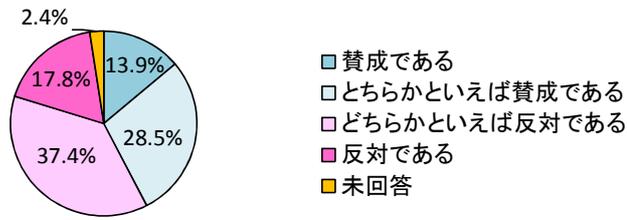
⑦ 施設を減らす代わりに、民間施設（会議室、スポーツ施設等）の利用に対して助成する



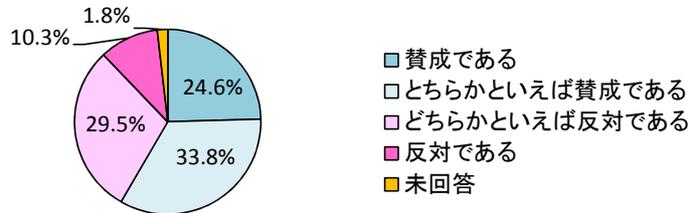
⑧ 利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る



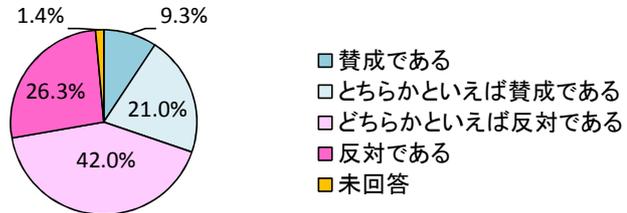
⑨ 施設におけるサービス水準を引き下げる



⑩ 施設の利用料金を引き上げる



⑪ 特別な税金等の徴収を行い、利用者だけでなく市民全体で負担する



公共施設に関するご意見、ご要望

1. シンポジウムに関するご意見（18件）

- （主なご意見）
- ・近年にない有意義なシンポジウムだった。
 - ・まちのビジョンが必要だというパネリストの意見に共感した。
 - ・質疑応答がなかったのは残念。

2. 公共施設の現状と課題に関するご意見（25件）

- （主なご意見）
- ・五市合併で重複した公共施設は不要と感じるものが多い。
 - ・市はもっと早く取り組むべきだった。
 - ・施設の利用状況（利用者数）が見えない。

3. 市の取り組み目標に関するご意見（42件）

- （主なご意見）
- ・急激に進めるのは無理があるので、40年間で20%削減はいいと思う。
 - ・反対する人も多いと思うが、頑張って進めて欲しい。
 - ・40年間で20%削減は甘い。もっと削減率を上げてスピードアップすべき。

4. 今後の取り組みに関するご意見（126件）

（1）市民対応・広報に関するご意見（17件）

- （主なご意見）
- ・市民の意見を十二分に取り上げることが大事。
 - ・今後もしっかり情報発信をやって欲しい。
 - ・市民説明は必要だと思うが、最後の決断は市長・市議会がすべき。

（2）施設の統廃合、適正配置に関するご意見（39件）

- （主なご意見）
- ・複合化・多機能化は、先進事例に学んで進めて欲しい。
 - ・同じ施設をすべての区に造る必要はない。
 - ・今後も必要な施設はきちんと建設すべき。取捨選択を行うべき。
 - ・一部の利用者が既得権益のように利用しているものもある。
 - ・公営住宅については、大きく削減すべき。
 - ・老朽化した施設の統合は賛成だが、地域との話し合いを望む。

（3）民間活力の導入に関するご意見（21件）

- （主なご意見）
- ・大胆な民間委譲を行うべき。
 - ・民間のノウハウを活用した効率的な見直しを進めてほしい。

（4）利用料金・運営方法の見直しに関するご意見（12件）

- （主なご意見）
- ・使用料が安すぎる。維持費用に応じた使用料を取るべき。
 - ・現在の割引や特典を再構築し、しかるべき負担を求めるべき。

（5）にぎわい・まちづくり、リノベーションに関するご意見（7件）

- （主なご意見）
- ・保有量削減は賛成だが、まちの魅力向上を絶対条件にしてほしい。

（6）その他のご意見（30件）

- （主なご意見）
- ・小倉南図書館は必要か疑問。
 - ・スタジアムを新築する必要があるのか。

(資料2)

公共施設マネジメントに関する出前講演の実績

平成26年11月20日現在

	実施日	相手方	参加者
1	5月2日	市経済団体	80
2	5月13日	北九州商工会議所役員	16
3	6月9日	門司区経済団体	60
4	6月10日	門司区自治総連合会	21
5	6月18日	門司区市民団体	30
6	6月25日	門司区経済団体	30
7	6月26日	門司区市民団体	20
8	6月26日	小倉北区経済団体	70
9	6月27日	市経済団体	70
10	7月23日	門司区市民団体	21
11	7月25日	民間企業	30
12	7月30日	門司区市民団体	30
13	8月6日	戸畑区経済団体	30
14	8月7日	市経済団体	30
15	8月26日	北九州商工会議所女性会	20
16	8月29日	北九州商工会議所部会、市経済団体	40
17	10月14日	八幡西区自治総連合会	30
18	10月23日	北九州商工会議所部会	60
19	11月1日	八幡西区市民団体	12
計			700

公共施設マネジメントに関する市民アンケート

市民の皆様へ

日頃より市政へのご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

このアンケートは、今後の公共施設に関する施策の参考とさせていただくため、北九州市にお住まいの方の中から、20歳以上の3,000名の方を無作為に選んでお送りしております。

ご多用のところたいへんお手数ですが、趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

北九州市

【アンケートご回答にあたってのお願い】

- 1 ご回答にあたっては、同封しておりますパンフレットをご一読下さい。
- 2 アンケートは、あて名に記載されている方がご回答下さい。
なお、事情により、あて名のご本人が回答できない場合は、ご家族の方などがお答えいただいても構いません。その場合、「問1」については、お答えいただく方に当てはまる性別・年齢・居住区・職業をご記入下さい。
- 3 ご回答は、このアンケート用紙に直接ご記入下さい。
- 4 ご回答は、鉛筆・ボールペンなどで、はっきりと濃く記入して下さい。
また、誤って記入した場合は、消しゴムや横線などで抹消し、正しい箇所に記入し直して下さい。
- 5 ご回答いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、11月4日(火)までにご返送下さい。なお、切手は不要です。
- 6 このアンケートについてご不明な点などがありましたら、下記へご連絡下さい。

問1 はじめに、あなた自身のことについて教えてください。

性別、年齢、居住区、職業について、それぞれ当てはまるものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

(回答欄)

性別	1 男性 2 女性
年齢	1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳代以上
居住区	1 門司区 2 小倉北区 3 小倉南区 4 若松区 5 八幡東区 6 八幡西区 7 戸畑区
職業	1 自営業 2 会社員 3 公務員 4 パート・アルバイト 5 専業主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他 ()

問2 次に、本市の公共施設の現状と課題についておたずねします。

本市の公共施設は、高度経済成長期に集中して整備されており、近い将来に一斉に老朽化を迎えることが予想されます。

一方で、少子高齢化の進行などにより、自治体の財政状況がますます厳しくなることが予想される中、公共施設の老朽化対策が全国の自治体共通の課題となっています。

このような公共施設を取り巻く現状と課題について、あなたはどのように思いますか。

次の中から、ご自分の考えに近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

(ご回答に当たっては、パンフレット2～4ページをお読み下さい。)

(回答欄)

現状と課題に 対するご意見	1 重要な問題である。 2 どちらかといえば問題である。 3 どちらかといえば問題ではない。 4 全く問題ではない。 5 その他 ()
------------------	--

問3 次に、公共施設に関する本市の方針についておたずねします。

本市では、平成26年2月に「北九州市行財政改革大綱」を策定し、公共施設の保有量を「少なくとも今後40年間で20%削減」という長期目標を定め、市民の皆さんのご理解をいただきながら、取組みを進めていくことにしています。

この本市の方針について、あなたはどのように思いますか。

次の中から、ご自分の考えに近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

(ご回答に当たっては、パンフレット5～6ページをお読みください。)

(回答欄)

市の方針に 対するご意見	1 上記の長期目標のとおりでよい。 2 もっと厳しい目標を掲げて取り組むべきである。 3 もっとゆるやかな目標を設定すべきである。 4 削減目標の設定には反対である。 5 その他 ()
-----------------	---

問4 次に、総量抑制に向けた施設ごとの今後の方向性についておたずねします。

本市では、市営住宅、小・中学校、市民利用施設について、平成27年度中に、総量抑制に向けた施設ごとの今後の方向性（施設分野別実行計画）を策定する予定です。

施設分野別実行計画の大まかな方向性は、北九州市行財政改革大綱に以下のとおり記載されていますが、それぞれの施設について、選択肢の中からお自分の考えに近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

（ご回答に当たっては、パンフレット7ページをお読みください。）

（回答欄）

1 市営住宅 ※注

分野別計画の方向性	世帯数の減少予測等に合わせ、真に住宅に困窮している世帯に配慮しつつ、市営住宅の管理戸数を縮減する方向で検討する。
あなたのご意見	1 上記の方向性のとおりでよい。 2 世帯数の減少予測を上回るペースで縮減すべきである。 3 市営住宅の管理戸数は縮減すべきでない。 4 その他（ ）

※注 市営住宅とは、住宅に困窮する低額所得者に、低廉な家賃で供給する住宅のことです。

2 小・中学校

分野別計画の方向性	学校規模の適正化によって発生する空き校舎等活用のあり方など諸問題の解決策について検討する。また、学校運営に配慮しつつ、引き続き学校施設の開放に取り組む。
あなたのご意見	1 上記の方向性のとおりでよい。 2 学校施設は積極的に一般市民に開放すべきである。 3 子どもたちの安全安心を確保するため、学校施設は一般市民に開放すべきではない。 4 その他（ ）

3 市民利用施設

	分野別計画の方向性	施設の利用状況や老朽化状況を勘案し、保有量の縮減を検討する。更新の際には集約化・複合化・多機能化等を推進する。								
あなたのご意見	選択肢 (共通) <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>1 = 上記の方向性のとおりでよい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 = 利用状況などに関わらず、積極的に縮減すべきである。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 = 保有量は縮減すべきではない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 = その他</td> </tr> </table>	{	1 = 上記の方向性のとおりでよい。		2 = 利用状況などに関わらず、積極的に縮減すべきである。		3 = 保有量は縮減すべきではない。		4 = その他	
	{	1 = 上記の方向性のとおりでよい。								
		2 = 利用状況などに関わらず、積極的に縮減すべきである。								
		3 = 保有量は縮減すべきではない。								
		4 = その他								
	生涯学習関連施設等 <table style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 2px;">生涯学習センター</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">市民センター</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">勤労青少年ホーム ※注1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">男女共同参画施設 ※注2</td> </tr> </table>	生涯学習センター	市民センター	勤労青少年ホーム ※注1	男女共同参画施設 ※注2	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ()				
生涯学習センター										
市民センター										
勤労青少年ホーム ※注1										
男女共同参画施設 ※注2										
文化施設 ※注3	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ()									
図書館	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ()									
青少年施設 ※注4	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ()									
スポーツ施設 ※注5	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ()									

※注1 勤労青少年ホームとは、勤労青少年の福祉事業を総合的に行う目的で整備された施設であり、現在、門司区、若松区、八幡西区の3箇所に設置されています。

※注2 男女共同参画施設とは、男女共同参画社会を推進する目的で整備された施設であり、現在、小倉北区に男女共同参画センター（ムーブ）が、門司区と八幡東区に勤労婦人センター（レディス）が設置されています。

※注3 文化施設とは、市民会館、文化ホール、美術館、博物館を指します。

※注4 青少年施設とは、少年自然の家、青少年の家、青少年センター、キャンプセンター、児童文化科学館を指します。

※注5 スポーツ施設とは、体育館、柔剣道場、弓道場、プール、陸上競技場、野球場等を指します。

問6 次に、今後の市の対策についておたずねします。

公共施設は、設置や改修にかかる費用のほか、運営・維持管理など色々な費用がかかるため、他の自治体では、1つの土地・建物に複数の施設を集約させる「複合化」や、1つの施設を複数の用途に使い分ける「多機能化」をはじめとして、以下のような費用削減の取組みが行われています。

それぞれの取組内容について、あなたの考えに一番近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

(回答欄)

取組み内容	あなたのご意見
複合化・多機能化によって施設の数や規模を減らす。 《建設・維持管理費用の削減》	1 大いに進めるべきである。 2 できるだけ進めた方がよい。 3 進めるべきではない。 4 その他 ()
施設機能や仕様が同じような施設は廃止・統合によって施設数を減らす。 《建設・維持管理費用の削減》	1 大いに進めるべきである。 2 できるだけ進めた方がよい。 3 進めるべきではない。 4 その他 ()
近隣自治体と共同で施設を建設・運営することによって施設数を減らす。 《建設・維持管理費用の削減》	1 大いに進めるべきである。 2 できるだけ進めた方がよい。 3 進めるべきではない。 4 その他 ()
施設の建替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する。 《建設・維持管理費用の削減》	1 大いに進めるべきである。 2 できるだけ進めた方がよい。 3 進めるべきではない。 4 その他 ()
地域活動に密着した施設は、地域住民が所有・維持管理を行う。 《維持管理費用の削減》	1 大いに進めるべきである。 2 できるだけ進めた方がよい。 3 進めるべきではない。 4 その他 ()

(次ページに続く)

問7 次に、公共施設の「複合化・多機能化」についておたずねします。

本市では、今後の老朽化施設の建替えにあたっては、1つの土地・建物に複数の施設を集約させる「複合化」や、1つの施設を複数の用途に使い分ける「多機能化」をできるだけ進めていくことにしています。

そこで、公共施設の「複合化・多機能化」にあたり、重視すべきポイントは何か、それぞれの項目について、あなたの考えに一番近いものを1つ選んで、番号を○で囲んで下さい。

(回答欄)

具体例	あなたのご意見
<p>これまでよりも施設の維持管理費用が節約できること。</p>	<p>1 たいへん重要である。 2 重要である。 3 それほど重要ではない。 4 その他 ()</p>
<p>建替えや改修により、施設がきれいになったり、最新の設備にリニューアルされること。</p>	<p>1 たいへん重要である。 2 重要である。 3 それほど重要ではない。 4 その他 ()</p>
<p>より広い用地への移転などにより、より多くの駐車場が確保されること。</p>	<p>1 たいへん重要である。 2 重要である。 3 それほど重要ではない。 4 その他 ()</p>
<p>J Rの駅やバス停に近くなるなど、公共交通機関が利用しやすくなること。</p>	<p>1 たいへん重要である。 2 重要である。 3 それほど重要ではない。 4 その他 ()</p>
<p>その他、公共施設の「複合化・多機能化」にあたり重視すべきポイントがあれば、右の空欄にご記入下さい。</p>	

問8 最後に、公共施設に関するご意見、ご要望があればご記入下さい。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。